



オスを乗せたメス

### トノサマバッタ

バッタ科 体長 35 ~ 65mm

頭部が四角の大型バッタ。体色が緑色型と褐色型のものがあるが、翅はどちらも褐色にまだら模様。河原や堤防などの草地によくいる。



### コバネイナゴ

バッタ科 体長 20 ~ 40mm

前翅が腹端より短い。同じ長さで、翅が長いのはハネナガイナゴ。体色は緑色が多く、翅を含んだ背面は薄い褐色。草地や水田にいる。



### ツチイナゴ

バッタ科 体長 50 ~ 70mm



幼虫

体色はうすい褐色だが、幼虫は黄緑色。イナゴより大型でトノサマバッタに近い。成虫で越冬する。草地だけでなく畑や林の周囲にもいる。



### ショウリョウバッタ

バッタ科 体長 40 ~ 80mm



顔のアップ

頭部がとがった大型のバッタ。雌の大きさは雄の2倍近くになる。体色は緑色型と褐色型で、混合型もある。雄は飛ぶときに「キチキチ」と鳴く。



オスを乗せたメス

### オンブバッタ

バッタ科 体長 20 ~ 45mm

頭部がとがった小型のバッタ。緑色型が多いが褐色型もある。交尾時以外でも雄が雌の上に載っていることが多い。草地や畑で見られる。



### ハラヒシバッタ

ヒシバッタ科 体長 9 ~ 15mm

非常に小型のバッタで、上から見ると体形が菱形に見える。河川敷などの草地に普通に見られる。